

② 理科を楽しむ

定年退職後の新しい職場に慣れてきたとき、入院と療養を余儀なくされたことについては、「か 看護の心を育てる」に書きました。適切な治療を受け、日々回復していったこの1か月、日中はナースの明るい笑顔につつまれ、同室の方々と会話を楽しむことができましたが、夜の暗い病室は何ともやりきれないものでした。

テレビを見ることが許されるのは午後9時まで、10時には消灯という病院生活の長い夜、私の脳裏を行き来するのは、理科教師としての自分のあしあとでした。

「あんな実験を考えたなあ」

「こんな工夫もしたなあ」

と38年間の思い起こし、

「あの実験は面白かった。詳しいデータはノートに残してあるはずだ」

「あのときの学習指導案はどうしたのだろう。今、読み返してみたら面白いだろうな」

などと考えました。そして、夏の朝の早い夜明けでブラインドの向こうが明るくなってくるのを待ちかねて、こうしたこと

との数々をA6判の小さなメモノートに書きつけるのが日課になりました。

仕事に復帰してからは余暇を生かして、病床でメモした内容に沿っ



て資料を収集し、それらをパソコンでまとめていきました。そうして40年あまり理科教育にかかわってきたの結論である「やっぱり理科は面白い」をタイトルにしたA5判・236ページの書が出来上がりました。この本は、これまでお世話になった方々、これからの理科教育・生活科教育を進めていただかなくてはならない若い先生たちに差し上げました。お読みくださった皆さんからは、130通を超えるたくさんのお手紙やEメールをいただきました。そのそれぞれは、なるほどと思われる感想が盛り込まれたものであり、こんなことも評価してくださっているんだと私を感激させるものでした。

この本のことは、読売新聞、朝日新聞、奈良新聞、日本教育新聞や月刊誌の読売奈良ライフなどに紹介され、毎日放送ラジオ「おはよう川村龍一です」では3日間にわたって電話対談をさせていただきました。そして、ラジオを聴き、新聞を読んでもくださった方々からの依頼で、理科の面白さや子育てについてお話をさせていただきました。奈良県保険課と国民年金課、3つの社会保険事務所の合同研修会、財団法人島岡教育基金の家庭教育



講演会講師としての大淀第一小学校や吐山小学校でのお話、大和郡山市教育委員会主催の生涯学習講座の1つである「三の丸サロン」でのお話、松下電器産業株式会社郡山工場での子育てフォーラム、天理

市教育委員会主催の子ども実験教室，田原本町の高齢者学級や女性セミナー，月ヶ瀬村の梅の里学級などでのお話もそうでした。こうしたときには、「やっぱり理科は面白い」の中から，題材を選び，実験をとりまぜて，お話をさせていただきました。

「子どもたちはこんな楽しい理科を学んでいたのですね」

「テストがないというゆったりした気持ちでお聞きするからでしょうか，とても楽しいです」

そんな感想をいただくのはうれしいことでした。

また，奈良県教育振興会の会誌「やまと」には，「やっぱり理科は面白い」に書いた話に新しいものを付け加え 30 数回も連載させていただきました。「理事さんには原稿料をお渡ししないことになっているんです。済みませんねえ」とおっしゃった編集担当・事務局理事の S 先生は，このシリーズに「理科を楽しむ」という名を付けてくださいました。

理科の教師としての総まとめのつもりで書いた「やっぱり理科は面白い」は，すべてお配りしすっきりなくなりました。そこで，自分のホームページ「やっぱり理科は面白い」を立ち上げ，これをご覧いただくことにしました。これには，この本の全文を掲載しただけではなく，その後の授業のことや自分で自然科学や理科を学びに出かけたときのこと，家庭教育学級などでお話させてもらったことなどを，次々に書き加えています。それは，今も続く「理科を楽しむ」取り組みなのです。

.....

頂戴したお手紙には，ずいぶんおほめいただいたものがあり，少々気恥ずかしいのですが，その一部を抜粋したものを順不同で並べさせていただきます。

○国民学校1年生のとき担任していただいた○先生

立派なご本をありがとう。温かみのある本、まるで貴殿の側に居て理科の話をしているような生きた本です。

年をとっていますので、一ぺんに読み終えることは無理ですが、膝をまじえて話しているようにボチボチ読ませて頂きます。

手が震えてまずい字で読みにくいでしょうが、これで精一杯です。本当に温かい生きたご本を有難う。

○大学でご指導を受けた無機化学のM先生

実に読み易い楽しい本、著者の貴方が目の前に居られる様な気分で読めました。何処からでも読める、誰にも憶えのある各テーマが簡明に一題一話の配列、私の愛する「論語」と同じ様な感じです。(ゴタゴタと沢山話そうとされない叙述の態が宜いですね。)考えることの楽しさ面白さを気付かせてくれました。

○I小でいっしょに勤務、現在S小学校のT先生

今年は2年生の担任をしております。大いに体を動かし体験の中から学ぶ理科(生活科)を実践していきたいというエネルギーを先生のご本からいただきました。

先生の本の中にギュッとつまった、たくさんのデータ、実践の記録に感動しています。

○元T小学校長で詩人のF先生

永年の理科教育の実践の中より生みおとされた珠玉のエッセイ。先生にして初めてなし得られるものと敬拝申し上げます。

学習に導き入れるに、よろこびがなければ

楽しさがなければ……真の学習は成立しない。

この度の御高著は、子どもたちを思う、愛しむ先生の教育への真実が一書に結実したものと思います。

○最後の授業をビデオに撮ってくれた I 小学校 Y 先生

I 小での最後の授業。録画しながらファインダーから見せていただくなんてもったいない、実際に見せていただかなくてはと思ったこと、とっても楽しそうな笑いっぱいの校長先生を思い出しました。

そして、その笑顔ひとつひとつが子どもたちに返ることを教えていただきました。

○2人の男の子を育てている姪のMさん

「親戚の叔父様」という顔しか知らなかった私ですが、先の『すくすく』はまだ？』と今回の「やっぱり理科は面白い」を読ませていただき、若き日の竹中先生や校長先生としての一面も見せていただくことができました。

星の指示棒を作られたお話を読ませていただいた時には、叔父様の身体の細胞のすべてが「理科は面白い」でできているんだと思いました。全校集会での葉っぱと根っこのお話もそうです。理科が好きで、子供が好きで、「教えるプロ・育てるプロ」としてのお顔がはっきり見えました。

理科が苦手な私も楽しく面白く読ませていただきました。ちがう世界を覗いてきた時のように、今、ワクワクしています。とてもいい顔をしていると思います。

○日本学生科学賞奈良県審査最優秀賞を受賞したH姉妹のお母さん

頂戴したご本を読ませていただき、先生の教師としての 40 数年間、がほんとうに理科一筋に生き、子どもたちを理科好きにする教育に向けられてきた様子がじんじんと胸に伝わってきました。先生程、自分の職業に満足し情熱をかけられて退職された方はあまりいないのではないかしら？ まして、退職後も理科に生きているってほんとうにすばらしく誰もが真似の出来ることではないと思います。

○平成7年の私のアルバム写真を撮影，現在T小学校勤務の○先生

今朝，読売新聞で先生の記事を拝見しました。「あっ，これ私もいただいたアノ本だ！」と嬉しくなりペンを取った次第です。読みかけたばかりですが，非常に読み易くそのときの授業をしておられる先生が目浮かぶようです。

○海外研修でいっしょだった栃木県のY先生

先生のご本から，学習の面白さ，物の見方，考え方，生き方等を教師は子供たちに気づかせ，理解させ，考えさせるため，更に日夜一層の努力をしなければならぬことを改めて痛感しました。

誰もが先生のご本を読み，少しでも「楽しい」「おもしろい」「わかる」等々の子供達が目を輝かせる授業の創造に努力して下さることをお願いするものです。

○元K村教育長・県へき地教育振興協議会長のT先生

「自然に触れる楽しみ」の中の「自由な考えを伸ばす学校」は，私も一役買っていたへき地教育と関連して特に心に触れるものがありました。自然に恵まれている山間へき地の学校に勤務する先生方にこの項一つでも是非読んでいただきたいものだとつくづく感じました。

○元T小学校長・退職後も意欲的な実践で学ばせてくださったK先生

「すくすく…」に続くご出版，おめでとうございます。さすがですね。改めて敬服する次第です。表紙の水色がさわやかですし，タイトルがとともほほえましい。そして，わかりやすいグラフや表，そして，囲み記事。カットやイラストがとても見やすく，読みやすいページ組み，そして，何より考えさせられる内容です。いい話題を今の時期に投げかけてくださったこと，意義のあることです。ほんとにありがとうございました。大事に大事にさせていただきます。